

みずほCustomer Desk Report 2019/11/06 号(As of 2019/11/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	公示仲値				
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.70	1.1128	120.97	1.2890	0.6889
SYD-NY High	109.25	1.1140	121.30	1.2918	0.6928
SYD-NY Low	108.57	1.1064	120.70	1.2860	0.6877
NY 5:00 PM	109.17	1.1074	120.88	1.2881	0.6894
NY DOW	27,492.63	30.52	日本2年債	-0.2400	3.00bp
NASDAQ	8,434.68	1.48	日本10年債	-0.1400	4.00bp
S&P	3,074.62	▲ 3.65	米国2年債	1.6215	3.43bp
日経平均	23,251.99	401.22	米国5年債	1.6599	6.25bp
TOPIX	1,694.16	27.66	米国10年債	1.8557	7.61bp
シカゴ日経先物	23,345.00	205	独10年債	-0.3110	4.00bp
ロンドンFT	7,388.08	18.39	英10年債	0.7710	5.10bp
DAX	13,148.50	12.22	豪10年債	1.2015	3.90bp
ハンセン指数	27,683.40	136.10	USDJPY 1M Vol	5.13	0.08%
上海総合	2,991.56	16.07	USDJPY 3M Vol	5.83	▲0.02%
NY金	1,483.70	▲ 27.40	USDJPY 6M Vol	6.33	0.05%
WTI	57.23	0.69	USDJPY 1M 25RR	-0.73	Yen Call Over
CRB指数	182.09	1.00	EURJPY 3M Vol	6.41	▲0.01%
ドルインデックス	97.91	0.40	EURJPY 6M Vol	6.70	▲0.10%

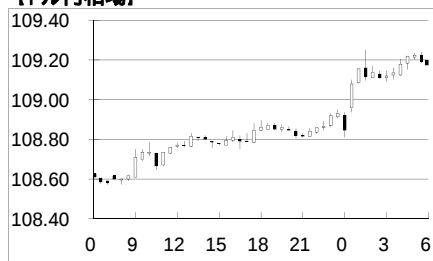
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月5日	22:00	米 パーキン・リッチモンド連銀総裁「これまでの利下げが意図した効果をもたらすか注視したい」		
11月6日	00:00	米 ISM非製造業景況指数	10月 54.7	53.5

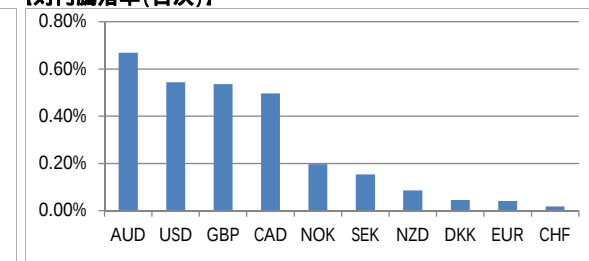
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月6日	16:00	独 製造業受注(前月比)	9月 0.1%	-0.6%
11月6日	22:00	米 エヴァンス・シカゴ連銀総裁講演	-	-
	23:30	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁講演	-	-
11月7日	05:15	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケットインプレッション】 日米の金融政策会合を終えて

先週の日米金融政策会合を終えて、足元のドル円相場は109円前後で会合前と大きく変わらない水準で推移しているが、今後の相場展開を見通す上で、両イベントを改めて振り返ってみたい。FOMCでは、声明文で「経済成長を持続するため適切に行動するだろう」という文言を削除。FRBは利下げ打ち止めを示唆したが、発表当日の米金利は低下で反応。米中問題や世界経済減速懸念で先行き不透明感強く、利下げ休止を市場は額面通りに受け止めていない模様だ。米中関係に関しては、先月のペンス副大統領演説に注目が集まった。英国のチャーチル首相が1946年に行った演説を彷彿させるとして、昨年は「第2の鉄のカーテン演説」と呼ばれたため、今年の演説は警戒したほどのインパクトはなかったとの報道も。しかし演説の中身をよく見ると、今年も内容は非常に厳しい。「多くの問題で中国の行動はさらに攻撃的でかく乱的になった。今年5月には数ヶ月に及ぶ交渉で出来上がった合意書を最後に拒絶した」。このような発言を見るに、部分合意はあっても、米中の覇権争いを巡る対立から包括的な合意には懐疑的にならざるを得ず、関係悪化で催促的に利下げ圧力が強まる展開もありそう。金利先物での米利下げ織り込みは来年末までに1回程度だが、利下げのタイミングが早まり、また回数が増える可能性もあるのでは。一方日銀については、黒田総裁は会見で「外需は弱くても設備投資を中心とした内需はしっかりしている」と発言。本音では景気に対して割と強気との見方もあるなか、株価が堅調で為替相場も比較的安定している状況下では、マイナス金利深堀りという緩和手段は当面温存されるのでは。利下げ圧力再燃の可能性がある米国と、追加緩和は当面なさそうな日本との日米金融政策格差で、ドル円は再び徐々にレンジを切り下げる展開を予想する。(山岸)

東京	東京時間のドル円は108.70レベルでオープン。英フィナンシャル・タイムズ紙が米国による対中関税の一部撤回の可能性を伝え、米中通商協議の進展期待が高まり、ドル円は108.83まで上昇。日経平均株価が堅調に推移したこともサポートとなり、ドル円は終日底堅く推移し、結局108.80レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.80レベルでオープン。アジア時間の堅調を維持したものの新規材料に欠ける中で値幅は108.75-89と限定的で108.86レベルでNYに渡った。ボンドドルは、1.2883レベルでオープン。朝方発表の英10月サービスPMIが予想を上回り好悪の分岐50と一致するとじわり上昇し1.2918まで買われる。ただ1.29台を守れず1.2898レベルでNYに渡った。(ロンドン・ロブリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	英紙が米国が中国製品1120億ドル相当の関税を撤回する可能性を報じたことから、海外市場のドル円は堅調な動きが続き、108.86レベルでNYオープン。朝方は米貿易赤字が予想より拡大するがドル円の反応は限定的となる。その後は、続いて発表された米10月ISM非製造業景況指数が、新規受注、雇用などが前回から改善したことから予想を上回り、新規輸出受注が前回から低下したことが懸念材料ではあるものの、ドル買いが強まり、10/30のFOMC直後に付けた109.28に迫る109.25まで上昇する。午後は、米中通商協議に対する期待から高値圏での推移が続き、109.17レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは、米中通商協議に対する期待を受けたドル買いに、上値を重くし1.1109レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ、じり安で推移し1.1086まで下落する。その後もISM非製造業景況指数結果を受けたドル買いに、1.1064まで下落する。午後安値圏での推移が続き、1.1074レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山岸・原田 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

	竹内	加藤	関	光石	岡本	上野	尾身	原田	玉井	ブル	ベア
Today	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	5	4
Week	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	4	5